

令和4年度第2回釜石市立図書館協議会の開催結果

- 1 開催日時 令和5年2月28日（火）午後2時から午後3時まで
- 2 場 所 釜石市立図書館 2階視聴覚室
- 3 出席委員 8人
野田摩理子委員、藤原由香里委員、柴田渥委員、佐藤悦男委員、
足立佐智子委員、村上修委員、市川淳子委員、菊池一章委員
- 4 欠席委員 万城目千佳代委員
- 5 事務局 3人
平野敏也市民生活部次長兼まちづくり課長、
川畑広恵図書館長、遠野英希館長補佐
- 6 傍聴者 なし
- 7 経過と結果

(1) 開会

館長が開会し、委員9人中8人が出席し、当協議会運営規則第4条第2項の規定により本会議が成立していることを報告

(2) 市民生活部次長挨拶（平野市民生活部次長兼まちづくり課長挨拶）

皆様いつもお世話になっております。今日はよろしく申し上げます。最近の釜石の明るい話題と致しましては、小山怜央さんが奨励会を経ないでプロ棋士になるというところで五番勝負のうち三つを勝って四月にプロ棋士として承認されるという明るい話題がございました。生まれは鶴住居で、震災で被災されて今お父さんとお母さんは定内の方にいらっしゃるそうです。この小佐野地区生活応援センターでもそういったところを今後取り上げていこうというところで、今日広報と一緒に周知される小佐野だよりの方にそちらの方載っているようでございますので、これからいろいろと応援していきたいなと思うところでございます。また、この小佐野地区と致しましては同じくサッカー選手の菊池流帆さんという方がいらっしゃいまして神戸のサッカーチームに所属しており、年度末に釜石の応援大使ということで任命されたところでございます。応援センターには大きな垂れ幕を掲げておりますが彼につきましても小佐野の大事な宝として応援することで今日の午前中に行われました公民館運営審議会の方でもそういった結論になっておりました。今日は図書館の協議会、これも一年間の図書館の活動の報告、そして今後の課題について皆様の貴重なご意見を頂く場としております。なかなか人員体制そのものがどんどん釜石市が人口が減っている理由のもとに職員の数も毎年どんどん減っている状況ではありますが、皆様の貴重なご意見をもとに私どもこの図書館の課題、そういったものに取り組んでまいりたいと思いますので、今日のご忌憚ないご意見を頂きますようよろしくお願いいたします。

(3) 委員長挨拶

皆さん、こんにちは。今次長さんの方から明るいニュースが二つほどありましてこれからまたコロナもちょっと収まってくれば市の方とかいろんなところでの行事もどんどん出てくるのかなというふうに思っております。ただ、うちの甲東こども園ではインフルはまだ誰もでておりませんけれども、巷では少しずつインフルの方も流行ってきているのでこちらの方も警戒しながらいろいろなことに取り組んでいけたらいいのかなと思っております。今日は皆さんのご協力を得ながら会を進めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

8. 議事

(1) 令和4年度釜石市立図書館事業中間報告について

質問者（委員）

感想でもよろしいですか。コロナ禍の中で非常に図書館の活動が素晴らしいなと思って感心しております。本当に世間というか私たち市民というか、大変なコロナ禍の中で様々な会合とか催し物とか、そういうものに常にプレッシャーを感じながら生きてきたと思っております。だけれども今回図書館のこうした活動の数々をみますと、非常に素晴らしいなと思って感動しております。人には簡単に「コロナに負けないで」なんて言ってましたけど、だんだんに年数が経ってきますと三年目になったわけですけど、プレッシャーが重くどんどん積み重なってきて、臆病な自分、臆病な仲間たち、そういう人がどんどん増えてきている中でね、今回こういう風に図書館の中で素晴らしく皆さんがやってきたことに関しては驚きというか、なんかすごく良かったなと思いますし、これもひとえに職員の皆様とかそれから図書館に通ってくる子供たち、そして親たちもすごく求めるものはどういう事情であれどういう状況であれ強いものなんだなと改めて感じさせていただきました。因みにしゃべりついでに感想を申し上げますが、実は今日思いもかけずに楽をして階段を上がってきました。予想外のことだったんですけど、のんびりではありましたが、おかげでいつも膝を抱えながらどっこいしょどっこいしょと上がってくるようなそういうことではなくて、すごく良かったなと思いますし、身体的に都合の悪い人たちも超高齢化時代ですので増えていくと思われまますので、こういう視聴覚室で行事をもたれた時にはすごく助かるんじゃないかなと思って、合わせてこれも感動しております。感動の言葉を述べさせていただきました。

質問者（委員）

11頁の(4)の特別企画「よるのおはなし会」のところなんですけど、これは6時半からってということで、これは大人だけ、お子さん、親子での参加ですか。

回答（館長）

そうですね、よく他館でも図書館お泊り会とか、夜図書館を開けて皆さんに楽しんでもらう

企画で、薄暗くなる時間にですね、もちろんターゲットは児童なんですけども、親御さん必ずついてきてくださいということでやらせていただきました。こちらは去年に続いて2回目になっております。今年は文化琴と読み聞かせの会「さくら」さんをお呼びしてちょっと怖めの本を読んでいただいております。怖い演出を随所にやりまして、導入部分からちょっと怖め感じでやっております。子どもたちからは「こわくなかったよ」という感想だったんですけど。

質問者（委員）

小さい子は何才くらいがいらっしゃったんですか。

回答（館長）

一番小さい子が3才、兄弟3人とかでおみえになって小学生にちっちゃい子っていう子がきてましたけど、お母さんに抱っこされて「そんなに怖くなかったよ」っておっしゃいました。

質問者（委員）

子どもたち、怖い怖いといいながら、怖いお話してちょうだいとかよく言うんですね、園でもね。怖い怖いって言いながらなんかすごくこう楽しんでいるだろうなと、今通信を見て思いました。ありがとうございます。

回答（館長）

夜の図書館とか、部屋によっても図書館は他にも郷土資料を保存するという面を持っておりますし、いろいろな機能をもたせることができればと思っております。ありがとうございます。

質問者（委員）

他の委員さんが言ったように、本当にいろいろな幅のもの、図書館といえば本を借りるだけなのかなと私自身は昔思っていたんですが、ここ何年かいろんなイベントをしてくれて、本当に遊び場が、公園なんか少なくなったじゃないですか。その分、図書館にきて、そういう体験をするということはすごい貴重なことなんだろうなって感じました。今後もまた続けていただければ嬉しいかなと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

（2）令和4年度釜石市立図書館利用状況中間報告について

質問者（委員）

高校生が多いっていうのは受験かなんかで来てるからなんですかね。高校生の貸出率が今見たら多いんですけども。

回答（館長補佐）

16歳～18歳とかですね、受験とかっていうことではないんですけど、当館ではヤングアダルトというような中高生向きの分野の本がございまして、そういった本についての周知とか展示とかを結構強めにやることで、「こういった本もあるんだな」ということで中高生の子たちに借りていただける、そういった本を大人の方も借りて全然結構なんですけれど、そ

ういった部分の伸びとかもあるのかなと思います。それからこちらの利用状況には、数字としては表れないんですけども、土日とか結構高校生の方とか中学生の子が勉強しに図書館の方にも来ていただいて1階の閲覧室とか、2階の学生利用室とかでも勉強して帰る子が多くなっています。

回答（館長）

ホンホン通信14号っていうこちらは主に中学生に配っておりますがそのYAという、ヤングアダルトコーナーの本も結構厳選させていただいて、話題の本とかをおいて宣伝しております。それから先ほど補佐も申しましたが、この人数はあくまでも本を借りた人数ですので、だいたい土日は150人越えの人数が入っております。閲覧席も満席で、子どもたちですね、児童室では小学生、中学生が勉強している、小上がりでは赤ちゃんが遊んでいる、一般の方で勉強したいという高校生もいるんですね。人がいるところで勉強した方が集中できるって言って一般の閲覧席で学習される高校生、それから2階の学生室で中学生、高校生が勉強しているということで、お陰様で先ほど委員さんがおっしゃったように、一つの居場所として図書館を認識してくれているのではないかなと思っております。ご利用いただいて本当にありがたいと思っています。

質問者（委員）

参考までに、本の管理って本当に大変だと思うんですけど、古くなった本を除籍っていうのは具体的には資源ごみかなんかになるんですか。

回答（館長）

お答えいたします。現在、閉架書庫も横溢になってきておりまして年に何回か本の除籍を行っております。全員で中身を協議してその本がここ何年か借りられていないかとか、状態がカビがどうであるかとかまで厳正に協議して、だいたい1年間に何十冊かは処分しなければいけないんですが、嬉しいことに市内の他課でお子さんたちに見せたいということで児童書はほぼほぼそちらの方に引き取っていただいております。きれいにクリーニングをしてバーコードを剥がして移管しております。絵本の方も、ボランティア団体さんの方でほしいということでこちらもきれいにして差し上げております。ただ、どうしても日進月歩の医学書であるとか、それからたくさんの子どもたちが見ます事典とか、そういった学習参考書などはどうしても内容自体が古くなりますのでそういったものはきれいにバーコードを剥がして残念ながら資源の方に売るといふうにさせていただいております。ただそれは、昭和五十何年とか、ここができた当初の古いもので、私たちが本を捨てるということに心が痛むところではありますが、如何せん循環させていかないと図書館にある情報自体が古くなるということと、やはりカビですとか、本を口にするような小さいお子さんは健康上の被害も心配ですので、十分気を付けながら行っております。もちろん貴重な郷土資料とか何年経っても二度と同じような本が出ない本に関しては除籍しませんし、除籍本は1か月くらいかけて職員全員で話をして決めております。

(3) 令和5年度移動図書館巡回先の見直しについて

質問者（委員）

移動図書館が来る時間のことなんですが地域によってばらばらだと思いますけれども、コースで決められていると思うのですが、なかなか時間によって午後だと出にくいとか午前中だと早すぎるとか、そういう要望とかってというのは来てないのでしょうか。

回答（館長補佐）

お答えします。実際に移動図書館車の運転手さんが、現場に行ったときにその利用者の方に、今まで来なくなった方とかもいるんですけども、そういった方に聞いたりして午前がいいか午後がいいかとか、それから施設を訪問するような巡回先もあるんですけども、そういったところについては何時がいいかとかご意見を頂戴しております。そういったことを踏まえて、例えば「火曜日の12時に来てほしい」とか「水曜日の3時がいい」とかそういったご意見がありますので、そういったものをうまくこちらの方で時間を調整して、今見直しを行ったりすることを想定しております。

実際に利用者の方の声を聞いて、図書館車も出来るだけ皆さんに使ってほしいなということもありますので、必ずしも0人だから廃止するというような単純なことではなくて、そういった皆さんに使ってほしいという、意見を尊重しながら利用しやすい時間帯とか遠いところだと朝早くとかはちょっと難しいんですけど、そういった調整はしております。

質問者（委員）

12番の「甲子林業センター」と41番の「源田沢公園前」が4月の1件だけということなんですかね。あとは借りる方がいなかったからという意味なんです。

回答（館長補佐）

お答えします。12番の「甲子林業センター」はおっしゃる通り1名、「源太沢公園前」も1名なんですけども、年度としてみたときに今年度はとりあえず1名の方がおられましたので、今回の協議会においては、この2か所についてはちょっと様子を見ようということもあって、この2か所については廃止という形にはしていません。

(4) その他

質問者（委員）

「すずめの戸締まり」なんかすごく人気を博して、映画は賞から外れてしまったんですけど、すごく皆さんが惹かれた作品だと思いますよね。例えば図書館の方で、これを読みたいとか希望があった時にだいたい何冊ぐらい仕入れるとか取り寄せていて、対応がどのくらいの間隔でできているのか、新刊についてはそこらへんある程度の情報があればもうワウッといってもう借りれないとか見れないということもあるわけだから、そこらへんはどうかちょっと聞いてみたいと思ってます。

回答（館長補佐）

お答えします。新刊本につきましては、だいたい平均的には毎週だいたい40冊から50冊

ぐらい、金額が高い本とか安い本はありますので、平均的に毎週だいたい40冊から50冊くらい購入しております。先ほどお話ありました、「買ってほしい」というのはリクエストという形でございます。釜石市立図書館に限らず、全国的な図書館というのはどこでもやっているんですけども、図書館にない本を買ってほしいというリクエストという制度がございますので、そういったものは受け付けております。こちらの方につきましても、だいたい平均的にいうと一週間でだいたい5件くらい買ってほしいというような受付があります。そういった本につきましては館内の方で選書会議というものがございますので、そちらの方でその本を買うべきか、買わざるべきかというような判断を行いまして、買うとなれば購入、買わないということも判断としてはあるんですけども、買わない場合は近隣の図書館とか県立図書館とかそういったところに蔵書がある場合は取り寄せてお貸しするというような対応もしているところでございます。以上です。